



取扱説明書

Radius 7

ver.1.06

はじめに

この度は ROKSAN Radius 7 レコードプレイヤーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

開梱

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

本体	X 1	アライメントゲージ	X 1
プッター	X 1	ベアリングオイル	X 1
トーンアーム・ケーブル	X 1	アンチスケート・ウェイト	X 1
ドライブベルト	X 1	フィンガーフック	X 1
六角レンチ (大中小)	各 1	カウンター・ウェイト取付用棒	X 1
ドライブベルト用パウダー小瓶	X 1	取扱説明書 (本書)	X 1

カートリッジ取付用ボルト/ナット X 1 組 (長 X 2, 短 X 2, ナット X 2)

※NIMA の付属品は、NIMA 取扱説明書をご確認ください。

使用上の注意

- 本体内部に水などが入らないようにしてください。決してキッチン、バスルームなどに置かないでください。また油煙や湯気が当たるような所やホコリの多い所に置かないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 極端に暑いところや寒いところ、湿度の高いところでの使用は避けてください。
- 感電の原因となりますので、濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないで下さい。
- 電源アダプターのコードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。また重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。結んだり巻きつけたりもしないで下さい。
- 表示された電源電圧で使用してください。
- 適切な機器とのみ、接続をしてください。疑問がある接続には販売店など、プロのアドバイスを得てからにしてください。
- 決して蓋を開けて分解、改造等しないでください。その場合での破損・故障等は保証の対象外となります。
- シャーシの汚れなどを取る時は、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤の入った液体・洗剤で拭かないでください。本機が変色を起こす事がありますので使用しないで下さい。
- 急に寒いところから暖かいところに移ると、内部で結露を起こします。このような場合、最低 1 時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
- 長期間使用しない場合は電源アダプターをコンセントから抜き、ベルトを取り外してください。
- 本機を輸送する際は、アンチスケート・ウェイト、カウンター・ウェイトを外して本体を梱包するようにして下さい。

組み立て方法

- ① RADIUS 7 を箱から取り出してください。
- ② 電圧ラベルの記載をご覧ください、お住まいの地域の供給電圧定格範囲に対して、問題のない電圧、周波数となっていることを確認してください。
- ③ ロックナットを使用し、Radius 7 が完全に水平となるよう、フィートを調整してください。
- ④ ブラッターを取り出し、中心の穴の位置を注意深く合わせ、ぴったりと収まるまでゆっくりと下ろしてください。
- ⑤ ドライブベルトを取り出します。はじめにブラッター周囲へ慎重に取り付けてから、次にプーリーへ取り付けてください。必ず、Radius 7 メイン入力ラベルに記載の周波数とお使いのメイン供給周波数とが一致していることを確かめてください。
- ⑥ お持ちのトーンアームとカートリッジを取り付けてください。組み立ての際は、製造元のマニュアルをご参照ください。

注意

メインベアリングには、すでにオイルとグリースが滴下されております。メインベアリングスピンドルをベアリングハウジングから取り出さないでください。万が一取り外してしまうと、オイルが周囲へ飛び散ってしまいます。メインベアリングに再度オイルを滴下する必要があります。

メインベアリングは、6 か月から 12 か月置きに、綿棒を使って掃除をし、Roksan 製ベアリングオイルを滴下する必要があります。

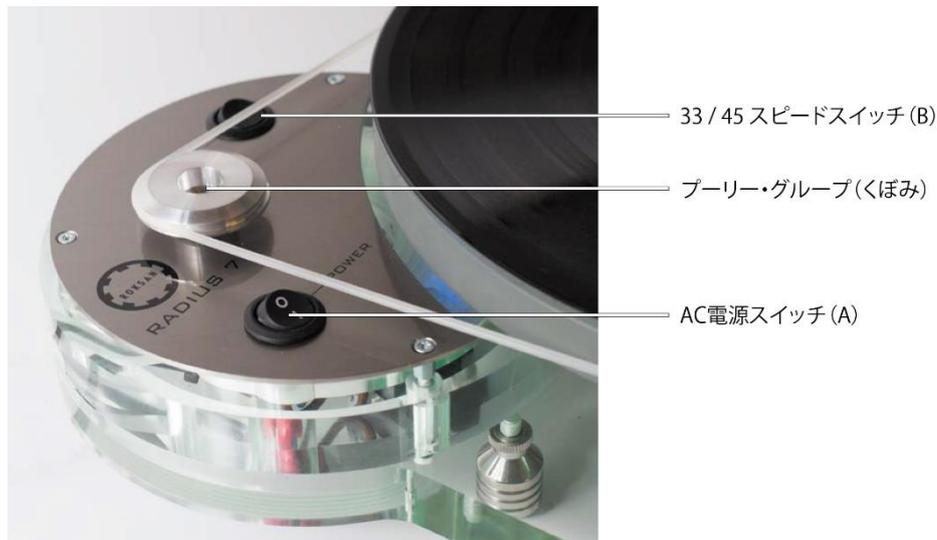
設置方法

- ① RADIUS 7 を水平な場所に置いてください。
- ② アームケーブルが基底部に、しっかりと接続されていることを確かめてください。
- ③ アンプのフォノ端子に、アームケーブルを接続してください。フォノ端子がお使いのカートリッジの型に対応していることを必ずお確かめください。
- ④ 針圧、アンチ・スケート、カートリッジ、トーンアームを、製造元の取扱説明書にある指示にそれぞれ従い、取り付けてください。
- ⑤ 本体の電源プラグを電源コンセントに接続し、Radius 7 のスイッチを入れてください。
- ⑥ 33 RPM/45RPM から回転速度を選択してください。選択したスピードでブラッターが回転します。

注意 回転がスタートした際、モーター付近から「ククク」とノイズが出る場合は、付属のドライブベルト用パウダーをドライブベルトに少量塗ってください。その後再度回転をスタートさせてください。

注意 RADIUS 7 を運搬する際は、必ずブラッターを取り外してください。NIMA が設置されている場合は、カウンター・ウェイトを取り外し、NIMA を運搬用ポジションに固定しアームレストの上へ置き、結束バンドで固定してください。

使用方法



- ① AC電源スイッチ (A) を入れてください。
- ② 33RPM/45RPM スピードスイッチ (B) で回転数を選択してください。
- ③ 正しい回転数で回転していることを確認してください。
青色に点灯する場合は 33RPM、赤色に点灯する場合は 45RPM を示します。
- ④ アンプのボリュームが小さく設定されていること、フォノ入力間違いなく選択されていることをご確認ください。
- ⑤ ゆっくりとボリュームを上げ、ノイズが出ていないことをお確かめください。
- ⑥ アンプのボリュームを大きくし、ハムノイズをお確かめください。ハムノイズが全く聞こえない、あるいは極めて小さな音のハムノイズのみが聞こえるはずですが（ご確認後は、必ずボリュームを小さくしてください）
- ⑦ 以上をご確認いただいた後、ゆっくりとアームおよびカートリッジを、お聞きになりたい曲の開始位置へ下ろしてください。曲の再生が始まります。

注意

ターンテーブルの回転速度が上がっている最中で、十分な安定性がない間は、LED が点滅します。この LED の点滅は、電源入力時や選択スピードを変更した時に起こり、3秒から5秒の間、速度が安定するまで続きます。

Radius7 モーター部は非常に繊細に設計されておりますので、レコード交換時や、レコードの A 面、B 面を裏返す場合は、一度回転をストップさせて、交換後スタートさせてください。故障の原因となります。

トラブルシューティング

不具合が疑われる場合、まずは接続部分を全て確認してください。カートリッジの取り付け（チャンネル・フェーズ）、トーンアーム・ケーブルの接続（RCAフォノケーブル・グラウンド）、メインリード線の接続は、特に念入りに確認してください。下記にて、いくつかの一般的な問題症状と考えられる解決法をまとめています。修理を依頼される前に、以下の内容をもう一度確かめてください。また、本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方も併せてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

症状	解決方法
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ACメインリード線がしっかりと接続されているか確認してください。 ユニットの電源を入っているか確認してください。
針先がレコード盤におりない。	<ul style="list-style-type: none"> 針圧は正しく調整されているか確認してください。 アームの水平バランスはとれているか確認してください。 アームリフターを下ろしているか確認してください。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジとヘッドシェルの接続は正しいか確認してください。 出力ケーブルが正しくアンプに接続されているか確認してください。 アンプのボリュームやチャンネルの切り替えは正しいか確認してください。
「ブーン」というハムノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> 出力ケーブルのアース線をアンプに接続されているか確認してください。 出力ケーブルのプラグが確実に接続されているか確認してください。
針とびを起こす。	<ul style="list-style-type: none"> 針圧が適正針圧になっているか確認してください。 レコード盤がそったり、傷が付いていたりしないか確認してください。 針先にホコリが大量に付いていないか確認してください。
アームが途中で進まない。	<ul style="list-style-type: none"> レコード盤に傷が付いていないか確認してください。 アームが何かに当たっていないか確認してください。
ノイズが出る。音が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> ターンテーブルがスピーカーに近すぎないか確認してください。 カートリッジの針が正常か確認してください。
音が小さい、または大きい。	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジの種類（出力MM/MC）に適したアンプの接続切り替えになっているか確認してください。
回転速度が正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> レコードの再生速度とモーター回転速度が一致しているか確認してください。
間違ったトラッキングやサウンドの質が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> アームとカートリッジの設置を確認してください。（製造元のマニュアルをご参照ください）
回転数が上がらない。モーター付近から「ククク」と異音がする。	<ul style="list-style-type: none"> 付属のドライブベルト用パウダーを、ドライブベルトの全体に少量塗ってください

Specifications

メインベアリングスピンドル	精密加工ステンレス
メインベアリングハウジング	精密加工一体真鍮
メインベアリングボール	精密肌焼硬化鋼
プーリー	精密加工アルミニウム合金
プラッター	精密加工アクリル
モーター	特別仕様 24 極シンクロモーター
回転速度	33 & 45 rpm
電力	90-240V 50-60 Hz
S/N 比	< -75dB
ワウフラッター	< 0.04%
サイズ (W x D x H)	460 x 385 x 150 mm
重さ	7.0 kg

ROKSAN は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスベックが行います。
詳しくは、株式会社ナスベックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。
修理の際は、販売店または株式会社ナスベックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **ROKSAN 日本輸入総代理店 株式会社ナスベック**まで



株式会社ナスベック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510
FAX : 058-268-7118
 : 0120-932-455
E-mail : support@naspecaudio.com

2021.6.25 (Ver 1.06)